

科目名	臨床生理学			ナンバリング	PHA681	授業形態	講義
対象学年	4 年	開講時期	後期	科目分類	選択	単位数	1 単位
代表教員	鈴木順子	担当教員					

授業の概要	生体の生命維持並びに恒常性維持に寄与する呼吸器及び循環器系並びに腎臓に主眼をおき、解剖生理学的な視点で、詳細な機能と器官の連関等について有機的な理解を深められるよう解説する。また、循環器系の機能から必要な臨床的評価を加えるための検査原理及び検査結果の評価等について解説するとともに、循環器系の異常による障害疾患の治療についても言及する。						
到達目標	1 ヒトの呼吸器・循環器・腎臓系の成り立ちと機能的相関について概説できる。 2 ヒトの呼吸器・循環器・腎臓の概要及び各器官の特徴について概説できる。 3 循環の様態と機能について概説できる。 4 呼吸・循環の機能的展開とその影響を受けやすい諸臓器について概説できる。 5 呼吸・循環の異常を発見するための主たる検査について概説できる。 6 呼吸器・循環器・腎臓の異常及びその検査学的所見からその治療や解決に向けた提案を考えることができる。						
学習のアドバイス (勉強方法、履修に必要な 予備知識など)	テキストプリントは、原則的に事前に配布するので、講義該当部分に目を通し、キーワードを抽出すること。また、可能な限り、問題解析型の予習課題を設定するので、必ず取り組むこと。講義後は、当該課題を再度やり直し、発展させること。						
ディプロマポリシーとの 関連	【薬学部薬学科のディプロマポリシー】						
		1. 薬剤師の社会的義務を認識し、医療の担い手としてふさわしいヒューマニズムと倫理観を具現できる。					
	○	2. 医療分野における問題点を発見して解決するために、研究マインドと知識を統合・活用する力を有する。					
		3. 患者本位の医療を実施するために、チーム医療における円滑なコミュニケーションをとることができる。					
	○	4. 地域の医療および保健に貢献するために、薬剤師としての実践的能力を有する。					
	○	5. 薬剤師として科学と医療の進展に対応するために、生涯にわたって持続可能な主体的学習ができる。					

標準的な到達レベル(合格ライン)の目安	理想的な到達レベルの目安
ヒトの循環器系の成り立ちと機能について概説できる。 ヒトの呼吸器系の成り立ちと機能について概説できる。 ヒトの腎臓について解剖生理学的特徴を概説できる。 呼吸・循環系総体の機能と機能障害について概説できる。	呼吸・循環系及び呼吸・循環系を構成する各器官に発生する異常とその起因あるいは異常の様態・程度を把握するための諸検査との関係を合理的に説明できる。 更に、疾患障害の治療的解決のための方法について概説できる。

成績評価観点 評価方法	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合
定期試験(中間・期末試験)	○	○					80%
小テスト・授業内レポート	○	○					10%
宿題・授業外レポート		○	○				10%
授業態度・授業への参加			○	○			加点は行わない 減点考慮の材料となる

課題、評価のフィードバック	小テスト、宿題等は、授業材料として積極的に利用する。できの悪い問題は特に理解しにくい部分を丁寧に解説する。 定期試験合格基準以下の学生については、指導を行い、その後に再度試験を受ける機会を与える。
---------------	--

	回次	テーマ	授業内容	備考
授業計画	第1回	循環系の全体像	循環系のダイナミックな全体像及び循環系を構成する器官・組織について 詳述するとともに、全身各臓器における血液配分・酸素配分について解説する。	SB0:C7-(1)-⑦-1 SB0:C7-(1)-⑦-2 SB0:C7-(1)-⑦-3
	第2回	心臓の構造と機能①	心臓の構造的特質及びそれがどのように心機能に寄与しているかを詳述する。特に心筋の興奮収縮連関と電気生理について解説する。	SB0:C7-(1)-⑦-1 SB0:C7-(1)-⑦-2 SB0:C7-(1)-⑦-3
	第3回	心臓の構造と機能②	心機能の調節にあずかるさまざまな機構について詳述するとともに、それらの機構の特質を用いた心機能の評価について解説する	SB0:E1-(2)-②-6 SB0:E2-(3)-①-1 SB0:E2-(3)-①-2
	第4回	心機能の評価と病態①	心電図の原理、心電図から知り得る生体情報、関連病態について詳述する。	SB0:E1-(2)-②-6 SB0:E2-(3)-①-1 SB0:E2-(3)-①-3
	第5回	心機能の評価と病態②	循環器系に対する超音波診断法の適応、並びに特徴的なデータについて詳述する。同時に胸部X線画像の意義、及び両検査法による疾患等の把握について解説する。	SB0:E1-(2)-②-6 SB0:E2-(3)-①-1 SB0:E2-(3)-①-2
	第6回	心機能の評価と病態③	核医学を用いた循環系の検査の意義と適応について詳述する。並びに カテーテル検査によって循環器系の解剖的・動態的特徴について詳述する。	SB0:E1-(2)-②-6 SB0:E2-(3)-①-2 SB0:E2-(3)-①-3
	第7回	心血管系の疾患と検査	主たる心血管系の疾患の把握と対処に関するガイドライン等について解説する。	SB0:E1-(2)-②-6 SB0:E2-(3)-①-1 SB0:E2-(3)-①-3
	第8回	呼吸器の構造と機能	呼吸器の機能形態学的特徴及び細胞構成の意義について詳述する。	SB0:C7-(1)-⑧-1 SB0:C8-(2)-①-2 SB0:E1-(2)-②-6
	第9回	呼吸器系の機能とその調節機構	呼吸運動の機構とこれに関係する諸組織の特徴等について詳述し、さらに 呼吸運動を支配する様々な生体要因について解説する。	SB0:C7-(1)-⑧-1 SB0:C8-(2)-①-2 SB0:E1-(2)-②-6
	第10回	呼吸器系の評価と病態①	呼吸器系の機能形態的特質に基づく諸検査の意義について解説する。 更にスパイロメトリー及びその関連検査の意義と情報の特質、疾患評価について解説する	SB0:E2-(4)-①-1 SB0:E2-(4)-①-2 SB0:E2-(4)-①-3
	第11回	呼吸器系の評価と病態②	血液ガス分析の意義及びその関連検査の意義と原理について解説する。 また、得られる情報と病態評価のポイントについて解説する。	SB0:E1-(2)-②-5 SB0:E2-(4)-①-2 SB0:E2-(4)-①-3
	第12回	呼吸器系の疾患と検査	代表的な呼吸器疾患の把握と対処に関するガイドラインについて解説する。	SB0:E1-(2)-②-5 SB0:E2-(4)-①-2 SB0:E2-(4)-①-3
	第13回	腎臓の構造と機能	腎臓の構造と機能について詳述し、循環機能との連関を解説する。	SB0:C7-(1)-⑩-1 SB0:C7-(2)-②-1 SB0:C7-(2)-⑤-1
	第14回	腎臓の機能評価のポイント	腎臓の解剖生理学的特質に基づく評価のポイントを挙げ、諸検査にみられる特徴的なデータについて解説する	SB0:C7-(2)-②-1 SB0:C7-(2)-⑤-1 SB0:E1-(2)-②-6
	第15回	腎臓の機能評価と病態	主要な腎疾患の病態評価のための検査とその基準となるデータについて 解説する。また、これらの疾患が他の臓器等に及ぼす影響についても解説する。	SB0:E1-(2)-②-6 SB0:E2-(3)-③-2 SB0:E2-(3)-③-3
	試験	全講義終了後に期末試験(筆記試験)を実施する。試験範囲は全講義内容とする。試験日程等は、口頭通達、並びに掲示板・ポータルサイト等を通じて知らせる。 試験配点80%のうち、期末試験については60%、7、12、15回終了時に課す問題解析型課題については20%の配点とする。		
授業の進め方		オリジナルテキスト(プリント)を用いて講義を行う。講義の最初に前回講義内容に関する質疑応答を行うとともに、講義中随時質疑応答を行う。		
授業外学習の指示		講義の終わりに復習すべき内容、予習すべき内容を指示する。オリジナルテキスト中にその講義項目について最低限把握しておくべきキーワード、参照文献等を掲げるので参考にすること。 (授業外学習時間： 毎週 90 分)		

教科書	オリジナルテキスト(プリント)を用いる
参考書	オリジナルテキスト(プリント)中に、個別に指示を行う。
参考URLなど	オリジナルテキスト(プリント)中に、個別に指示を行う。
その他	目標：薬剤師に求められる基本的な資質⑥（薬物療法における実践的能力） 薬物療法を総合的に評価し、安全で有効な医薬品の使用を推進するために、医薬品を供給し、調剤、服薬指導、処方設計の提案等の薬学的管理を実践する能力を有する。 大学独自：10%